



長崎市議会議員 深堀ひろし だより

平成23年 1月発行
第15号 発行責任者 深堀ひろし

元気な 創る よかばい 街



市民クラブ会派メンバーと函館にて

皆様、新年あけましておめでとうございます。

新年をご家族の皆様と明るく迎えることと賀び申上げます。

さて、早々このご長崎市議会議員としての任期最後の年を迎えました。

今年は、ようやく統一地方選挙の年になります。

国政の状況は混沌といいますが、これからは地方の時代。

「長崎から政治を変えていく」という意気込みで政治活動に取り組むとともに、春の統一地方選挙もえ氣一杯、頑張りたいと思ふます。

一方、長崎市政ですが、平成23年度一般会計決算の不認定や

今年度補正予算の額修正、更には議員・職員による不祥事など
課題山積の状況にあります。

地域主権を実現するための成熟した行政、そして市民の皆様の
信託に応えるやる政治が今こそ必要です。

市議会議員としての任期は残りわずかとなりましたが、
一歩懸命取り組んで参ります。

深堀 ひろし

—議会報告—

平成22年 第5回長崎市議会定例会（11月議会）



平成22年第5回長崎市議会定例会（11月議会）が、11月24日から12月13日までの20日間開催されました。

本議会は、平成21年度長崎市一般会計歳入歳出決算（閉会中に委員会で審議されていた議案）や総額20億9434万円の一般会計補正予算案、長崎まちなか龍馬館条例案等を審議するものがありました。

しかし、初日から、平成21年度長崎市一般会計歳入歳出決算が昨年発覚した「都市計画道路小ヶ倉蛍茶屋線の予算流用問題」により不認定となりました。

平成19年度のバイオラボ社の企業立地奨励金問題に続き3度目の不認定です。

市長としても、議会からの不認定は、大きな問題である訳ですが、その直後に来春の市長選挙に出馬する意向を議会で公言したため、波乱の幕開けとなりました。

また、相次ぐ市役所職員の不祥事に関する一般質問がある中、またしても考えられないような職員の不法行為。市民からの信頼は失墜してしまいました。

予算案に関しても、新市立病院のPFI関連予算について、委託先の選定過程の不透明さが払拭できず減額修正。

また、障害者や高齢者の皆様が待ちに待っていた交通費助成へのスマートカード導入についても、行政の準備不足により、議会が待ったをかけるという不手際まで露呈しました。

これまで4年間、市議会議員として議会活動に携わって参りましたが、ここまで紛糾した議会は初めてでした。

このような中にも、永年、平和活動に尽力されてきた土山秀夫氏が「名誉市民」として選出されました。

平和都市長崎として、大変喜ばしいことであり、土山秀夫氏の永年の活動にあらためて感謝と敬意を表したいと思います。

しかしながら、現在の長崎市の行政運営においては、赤信号が点滅していると言わざるを得ません。

地域主権を実現するためにも、行政内部の改革が必要であることを浮き彫りにした今議会でありました。

平成22年度補正予算の主な内容

I 一般会計

◆財政調整基金…9億8,833万2千円

一般会計の平成21年度決算剰余金の一部を積み立てる。

◆伊王島地区旧陸上養殖施設解体費…950万円

伊王島大橋の架橋により観光客の増加が見込まれることから、旧陸上養殖施設の老朽化に伴う危険性除去や景観向上に資するとともに、臨時駐車場として利用するため、施設の一部を解体する。

◆障害者就労訓練設備等整備費補助金…591万2千円

障害者自立支援法に基づく就労移行支援等を開始する施設の設備整備やグループホーム等の事業を行うための改修工事等に対して助成する。

◆介護療養型医療施設転換整備費補助金…1,755万円

第4期介護保険事業計画に基づき、介護療養型医療施設の転換が円滑に図られるよう、介護老人保健施設及びグループホームへの施設転換整備を実施する民間事業者へ助成する。

◆グループホーム等施設整備費補助金…8,971万3千円

消防法施行令の改正等に伴い、スプリンクラー設備等の整備を実施する民間事業者へ助成する。

スプリンクラー設備:12ヶ所

自動火災報知設備:3ヶ所

消防機関通報火災報知設備:2ヶ所

◆長崎まちなか龍馬館運営費…946万円

長崎における「龍馬観光」の定着を図るため、長崎まちなか龍馬館を直営に切り替えて継続するとともに、さるく観光の一層の推進と観光インフォメーション機能の充実を図る。



◆伊王島観光推進事業費…1,240万6千円

伊王島大橋架橋後の島内観光の振興や交通混雑の緩和を図るため、電動アシスト付自転車等を整備する。

◆私立幼稚園就園奨励費補助金…4,281万円

私立幼稚園において、保育料等の減免対象者数が見込みを上回ったことに伴い増額する。

◆公的資金繰上償還分…1億8,595万6千円

国の公債費負担対策に基づき、補償金免除により高金利の市債を繰上償還する。

今回対象分:年利6.5%以上のもの

条例の一部を改正する主な条例

○長崎まちなか龍馬館条例

坂本龍馬が活躍した幕末を中心とする本市の歴史及び文化に関する資料を広く市民の観覧に供し、もって市民の文化の向上及び観光の振興に資するため、長崎まちなか龍馬館を設置したい。

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

1. 本市の一般職の職員の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当の支給割合を改定したい。
2. 55歳を超える職員に対する給料月額等の支給に当たって、当分の間、その一定割合を減ずる措置を講じたい。
3. 教育長、議会の議員、常勤の監査委員、上下水道事業管理者及び病院事業管理者の期末手当の支給割合を改定したい。
4. その他所要の整備をしたい。

○名誉市民の選定について

土山秀夫氏を本市の名誉市民に選定したいが、

長崎市名誉市民条例第3条の規定により議会の同意を得る必要がある。

○長崎市都市景観条例の一部を改定する条例 ⇒継続審査

1. 多様な特色を持つ地域の個性を活かした景観まちづくりを推進するため、景観計画に定める景観計画区域を本市の全域としたい。
2. 市民主体の景観まちづくりを推進するため、景観まちづくり地域団体が策定する景観まちづくり計画に関し、必要な事項を定めたい。
3. 景観法の規定に基づく手続等に関し、必要な事項を定めたい。
4. その他所要の整備をしたい。

○過疎地域自立促進市町村計画について

過疎地域自立促進特別措置法の一部が改正され、同法の有効期限が延長されたこと等に伴い、同法第33条第2項の規定により過疎地域とみなされる旧伊王島町、旧高島町、旧野母崎町及び旧外海町の区域に係る過疎地域自立促進市町村計画を定めたい。

臨時議会報告



年末の12月24日、平成22年第6回長崎市議会臨時会が開催されました。

この臨時議会は、11月26日に成立した国の補正予算「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」を受け、一刻も早く長崎市緊急経済対策(補正予算案)を実施するためのものでした。

緊急経済対策は、一般会計及び企業会計で、予算規模22億269万円(債務負担行為を含めれば23億9819万円)です。

内容も、国の地域活性化交付金を利用したものや生活に密着した長崎市単独事業など、有効な経済対策で、大いに期待できるものです。

一方、前回の11月議会で、減額修正されていた「新市立病院のPFI関連予算」。

委託先の選定過程の不透明さが指摘されていましたが、今回、議会が求めていた審査過程の資料が行政側から新たに提示されました。

これまでの行政側の対応には附帯決議という形で反省を促し、市民生活に直結する新市立病院の早期開設に向け、予算案を可決した次第です。

1 国の補正予算に呼応して、新設された地域活性化交付金を活用した事業

1)きめ細やかな交付金事業【10億100万9千円】

- 市民生活に密着した分野(道路・公園・住宅)や市有施設における緊急修繕、及び投資的事業の実施、併せて、地域商業活性化等のソフト事業も実施

(2)住民生活に光をそそぐ交付金事業【9,227万円】

- 障害者、高齢者、不登校やひきこもりの児童・生徒、及び特別支援学級の児童・生徒への支援を行うとともに、知の地域づくりとして公民館図書室の充実などを図る。

2 上記1の地域活性化交付金事業以外の国の補正予算に伴う国・県補助事業など【10億8,541万2千円】

- 子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種について公費助成を開始する。

3 長崎市単独事業

【2,400万円】※総額2億1,950万円

- 住宅リフォーム緊急支援事業費(H22:2,400万円、H23債務負担行為:1億9,550万円)
*民間住宅の改修工事に対する助成(@10万円×2,000件=2億円)
 - ・補助率 1/10、限度額10万円
 - ・申込期間 平成23年2月1日～12月28日
 - ・経済波及効果 約38.7億円

4 最低制限価格率の引き上げ 【※予算を伴わないもの】

- (1)工事関係以外の業務委託:現行73%⇒85%
(12%引き上げ)
- (2)建設工事:現行87.0%～88.99%⇒88%～90%(実質1%引き上げ)
- (3)建設工事に係る業務委託(建設コンサル系):現行70.0%～74.99%⇒74%～76%
(実質1%引き上げ)
- (4)実施時期:平成23年1月17日以降の入札公告分から実施



ち
ひよ
とと
息

南山手美術館へ行ってみよう

先月、二十数年前からお世話になつてゐる先輩から久しぶりの連絡がありました。

「グラバー園入り口で美術館を開館したから、一度遊びにいで」という内容。

突然の話にびっくりして、すぐさま訪問しましたが、行ってみて驚いたのは、個人の所蔵物とは思えないほどの、品々が展示されているではないですか。

坂本龍馬・中岡慎太郎の肖像画や勝海舟・西郷隆盛など幕末の志士やそれによつわる書画等々。龍馬ファンなら、ため息がで

るような品々ばかり。

どうしてこんな美術品を個人で所有できたのか？そして、自費で美術館まで開館したのか？？

よくよくお話を聞いてみたら、「故郷ながさきをこよなく愛する者として、先祖から引き継いだ長崎ゆかりの美術品を是非、長崎人に見てほしい」という気持ちからのこと。

こんなに長崎を愛している人が身近にいたことに感動した次第です。

是非みなさん、一度、足を運んでください。本物の長崎ゆかりの美術品に感動を覚えること間違いなしです。



南山手美術館
長崎市南山手4-3



ご相談はお気軽に

長崎市議会議員

深堀ひろし

[連絡所] 長崎市城山町3-19

[TEL&FAX] 095-800-3780

[ホームページ] <http://fukahorihiroshi.net>

「深堀ひろしのブログ」携帯はこちらから▶



深堀ひろし後援会事務所を開設しました

ぜひお立ち寄りください！
住所：長崎市平和町4番20号

